



十和田市立中央病院 病院ニュース

さわらび

令和6年2月5日号



令和6年能登半島地震対応報告

外科診療部長 藪内 伸一
 十和田 DMAT 隊長 根岸 由紀子
 外来看護師 奥山 勝俊
 薬局調剤主任

令和6年元日に石川県能登地方で M7.6 最大震度7の地震が発生しました。1月6日午後青森県 DMAT 派遣要請に従い当院からも3名の DMAT 隊員が出動しました。参集拠点本部からの指示で穴水町役場内(のちに保健センターへ移動)の保健医療福祉調整本部の本部要員として活動しました。



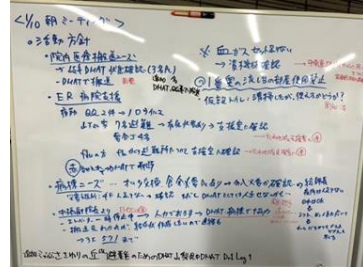
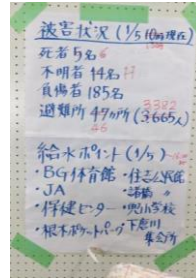
被害状況は・・・

穴水町役場玄関先には門松が倒れたままの状態、玄関口や駐車場アスファルトには亀裂と段差が生じていました。庁舎内は壁の崩落があり、また裏手の山は土砂崩れと、地震による甚大な被害状況が確認されました。



地域の住民は・・・

断水により衛生環境が悪化しているなか、住民は避難生活を強いられていました。地域の情報収集と医療ニーズについて把握するため、活動エリア分担の調整を行い、保健師や JMAT などの支援チームと協力し活動しました。避難所や施設被害状況が明らかになるにつれ、新型コロナやインフルエンザ感染者が急増していることが判明するなか、感染拡大を防ぐために巡回活動を強化し手指消毒や口腔ケア等の指導をしました。車内で生活している方々もあり、支援が行き届いていない状況も確認されました。



東日本大震災や熊本地震などの大災害の教訓から、巨大地震や自然災害に対応すべく、多くの災害支援チームが発足し活動しています。私たち DMAT 隊は活動期間が終了すると帰宅できる場所がありますが、避難者は戻る場所がない不安と苦痛な環境で生活しています。一つ一つのチームは小さいですが集合することで大きな力となります。DMAT の活動が少しでも被災地域支援につながれば幸いです。一日も早い復興をお祈りいたします。



当院医師が「キャリア教育講座」の講師を務めました。

医療支援室 1 村上雄哉

12月5日(火)七戸町立天間林小学校、12月13日(水)おいらせ町立木内々小学校においてキャリア教育講座が行われ、当院医師の荻野雅也先生(総合診療科)と、三浦祐香先生(1年次初期研修医)が講師を務めました。講座では医師を職業として選んだ理由、医師になるまでの過程、実際の仕事内容や働くうえでのやりがい等について講演を行い、子どもたちは目を輝かせながら講話を聞いていました。講演後の質問コーナーでは多くの手が上がり、医療に関わる仕事への関心の高さがうかがわれました。今回の講座が子どもたちの将来への一助となれば幸いです。今後も講演等への当院職員派遣を通じ、地域に貢献できればと考えております。講師をご担当いただいた先生方、ありがとうございます。なお当院ホームページ内の医師の地域活動をサポートする〈ヘルスリンクセンター〉ページでは院外における医師の活動をご紹介します。

*ヘルスリンクセンターURL <http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/RT/30HRC1.html>



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>